

2020年6月23日 18時18分

平野ロジスティクス オリジナルトレーラー増強 業界の発展に貢献



平野ロジスティクスの「+1α」



オランダのトレーラー製造工場のスタッフと(中央が益子研一取締役。撮影=2019年)

新型コロナウイルス感染拡大に伴う渡航制限で航空ネットワークが制限されている。この状況から航空業界が脱して回復期を迎えることを見据え、平野ロジスティクスはオリジナルトレーラーを含む車両増強、ドライバーや内勤者の陣容拡大など事業基盤を強化。航空貨物業界の新たな成長期を支える方針だ。益子研一取締役営業本部長は「社会的インフラである航空貨物業界で働いているという自覚をもち、業界の発展、社会貢献につなげていきたい」と話す。

現在、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴って、空港間OLT(保税転送)サービスは長距離輸送の需要が高まっているという。平野ロジスティクスは同社オリジナルトレーラーを活用することで、短距離から中長距離までのフィーダー輸送を効率的な体制のもとで提供している。現在の状況下にあっても、こうした強みを生かして、効率的なサービスを提供している。

車両増強の一環として、大型トラックよりも96インチ仕様のユニット・ロード・デバイス(ULD)を1台多く搭載できるトレーラー「+1」、同トレーラーに改良を加えた「+1α」、大型トラックよりLD3コンテナ換算で7台多く搭載できる「+7」を年内に増強する。

「+1」は年内に3台増車して計20台。「+1α」は今年に入って20台体制となっていたが、5月に緊急で追加発注を掛け、年内に5台増車して計25台。「+7」は年内に1台増車して計2台となる。「+7」に改良を加えて8台多く搭載できる「+8」は1台、ULDを2台多く搭載できる「+2」は2台という車両体制だ。

2020年夏季スケジュールで発着容量が拡大した首都圏空港(成田空港、羽田空港)への対応という観点からも車両増強を図ってきたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて航空ネットワークが制限された。一方、長距離のフィーダー需要などに対応できる事業基盤を生かしてサービスを強化、需要に柔軟に対応している。

益子取締役は「首都圏空港の容量拡大への対応に関しては、改めて準備期間を与えられた、と捉えている。かつ変化に柔軟に対応できる体制を生かして、お客さまの需要にしっかりと応えていく」と説明。さらに「今後、需要回復期を迎える段階においては、さまざまな需要が予想される。お客さまに高い満足度を提供できるように体制を強化している」と強調する。

Daily Cargo 試験お申し込み

#コロナに負けない 貴様の声をお寄せください

東京港特集 4月8日、起死回生の瞬間が訪れた。東京港の新たなコンテナターミナル(CT)となる、中央防波堤外側の「CT」が本格運用を開始した。

物流BCP特集 近年増加が著しい災害、貨物増加とピークシーズン不足にどう対応するか。そして足元では新型コロナウイルス感染症、物流における事業継続計画(BCP)の重要性が高まっている。

リーファー輸送特集 大阪税関・大阪通関業会特集 茨城の港湾特集 大阪港特集 国際物流総合展特集 成田空港フォークリフト・パレットビルディング競技会特集 半導体・電子デバイス製品・精密機器輸送特集 新潟東港開港50周年特集 農水産物・食品輸出物流特集 博多港開港120周年特集

ピギナーのための航空貨物100/100

ロジスティクスの基礎知識(改訂第2版)

物流企業の海外拠点一覽 2020

地方港縦断 2019

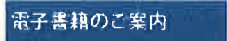
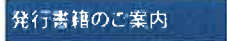
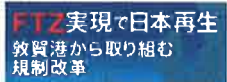
通販物流 ビジネス成功への必要條件

DLH グローバル フォワーディング ジャパン株式会社

おすすめの特集 空の日特集 全日空・B777Fシカゴ就航 中国特集2019 関西物流特集2019 中部圏物流特集2019 北九州市物流特集2019 金沢港特集 危険物倉庫特集 「通関業の日」特集 羽田空港物流特集

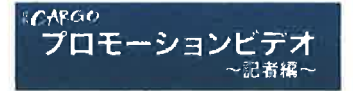
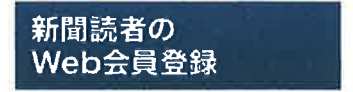
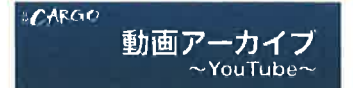
アクセスランキング

きょう 前号 過去1週間 8時12分現在 平野ロジスティクス オリジナルトレーラー増強 業界の発展に貢献 【#コロナに負けない】日新 業務拡大へ 「NVOCC事業室」新設 全日空 カーゴ・ワン経由のウェブ予約開始 欧州市場の販売網強化 【#コロナに負けない】アセアン物流最前線<1> 物流を止めない使命を デルタ航空 貨物サービス部を羽田に 【人事】南海エクスプレス 【展望台】「対応モデル」になれるか コンテナ地方港 新型コロナ影響、取り扱い減少じわり 感染拡大防止策徹底も ターキッシュエアラインズ 7月4日から羽田線再開 JAJA日本発航空輸出混載全仕向け別別推移<5月>



車両増強とともに優秀なドライバーの確保も進んでいるという。成田空港の南部貨物地区には同社専用のトレーラー置場を確保している。空港貨物地区における貨物の搬出入、空港間輸送の効率化、トラック待機時間短縮など、さまざまな課題を解決するためのインフラとして活用していく方針だ。

戻る



▲ページの先頭へ

- 電子版のお申し込み(部誌/別誌)
- 部誌のお申し込み(購読/試読)
- 新聞読者の電子版ユーザーID発行お申し込み
- Daily Cargoメルマガのお申し込み

- Daily Cargoとは
- 会社概要
- お問い合わせ
- プライバシーポリシー
- 会員規約

- ご購読について
- 著作権/リンクポリシー
- 広告掲載について
- 特定商取引法について

- 記事検索
- DATAANK
- 電子版別版
- ヘルプ
- サイトマップ

Copyright © Kaiji Press Co., Ltd. All rights reserved.  
見出し、記事、写真の無断転載を禁じる。